

「ふじのかみ」トイレットペーパー包装紙の新デザイン制作 ～デザイン思考による産官学連携プロジェクト～

常葉大学 経営学部 小豆川ゼミ・研究室
指導教員：教授 小豆川裕子

参加学生(16名)：○リーダー

3年：○松下友哉 石川巴菜 石部燦東 岩辺愛理 佐久間梨帆 澤原歩夢 上楽紘豊
高田真良 高橋真優 中田遥 西村和海 廣野朝哉 藤浪令菜 前嶋晃成
増田朱里 湯野静菜

1 要約

富士市は平成14（2002）年、再生家庭紙需要の促進を図り、紙の円滑なりサイクルシステムを確立するために富土地域再生家庭紙利用促進協議会（以下、再紙協）を設立した¹。

本研究では、富士市産業交流部 産業政策課、再紙協とその会員企業である丸富製紙株式会社等関係各者と協働しながら、トイレットペーパーの包装紙商標「ふじのかみ」の新たなデザイン制作を「デザイン思考」を活用したアプローチで実施している。「ふじのかみ」は、かみのまち富士市そのもののシンボルで、地域ブランドとして位置づけられ、今回の新デザイン制作により、脱炭素社会、資源循環型社会に寄与する再生家庭紙、富士市、そして再紙協の会員企業のさらなるイメージ・アップ、魅力発信の向上に寄与するものである。

2 研究の目的

本研究は商標「ふじのかみ」の新たなデザイン制作を、「デザイン思考」を活用した産官学の関係各者との協働によるアプローチで実施し、脱炭素社会、資源循環型社会に寄与する再生家庭紙、富士市、再紙協の会員企業のイメージ・アップ、魅力発信の向上に寄与することを目的に実施する。

3 研究の内容（以下敬称略）

(1)実施体制と役割分担、(2)実施時期と内容は以下のとおりである。

(1)実施体制と役割分担

- ・課題提出者：富士市産業交流部 産業政策課
- ・企画・制作：小豆川裕子ゼミ・研究室 3年 16名
- ・連携・協力：再紙協、丸富製紙株式会社、日置蓉子氏（富士このみスタイル・このみ会、グラフィックレコーディング協力）、コイズミチアキ氏（デザイン協力）

(2)実施時期と実施内容

2024年

- 7月11日：キックオフミーティング：本事業の目的、趣旨の把握、富士市における再生家庭紙をめぐる現状・課題等情報共有、学生による「デザイン思考」の事前研究の発表
- 8月30日：富士市産業交流部産業政策課主催 富山達章氏『ブランディングとイノベーションにつなげるデザイン経営ー現在地とこれから』講演受講と質疑応答
- 9月：工場見学準備
- 10月4日：丸富製紙株式会社本社・今泉工場・丸富コンバーティング株式会社の加工工場の見学

¹ 富土地域再生家庭紙利用促進協議会のホームページ<<https://fujinokami.com/>>

10月～12月：ワークショップ開催、デザインの制作・検証、版下制作、印刷、成果発信の準備

2025年

1月～：印刷・納品、ものづくり力・交流フェア・ふじのくに地域・大学フォーラムにおける発表準備、メイキング映像の制作、成果報告書の作成

2月7日（予定）：ものづくり力交流フェアにおける発表、再紙協ブースにおけるポスター発表、映像の発信

2月8日（予定）：ふじのくに地域・大学フォーラムにおける発表

(1)当初の計画 ほぼ予定どおりに実施。

(2)実際の内容 A：

関係各社の御協力をいただき、ほぼ予定どおりに実施ができた。

(3)実績・成果と課題

①実績・成果

ゼミ生は本研究を通じて「デザイン思考」の基本、「共感」「定義」「概念化」「試作・プロトタイプング」「テスト」という一連のプロセスを学び、特にユーザー視点の重要性や日常生活をはじめとして様々な分野への適用可能性を学ぶことができた。

また、実際の工場見学を通じて企業、富士市、製造に関わる人の想いを形にすることが重要で、それが人を動かすポイントとなることが修得できた。

②課題

課題としては初期の段階で研究目的や現状・背景など情報共有があったものの、（プロジェクトのタスクが多く）全体像が曖昧のまま進んでしまったことなどがあげられる。

(4)今後の改善点や対策

今後の改善点や課題として、個人の役割の明確化、「デザイン思考」の基本知識の修得だけでなくプロジェクト全体概要、ゴールの徹底した共有など、活動全体にも「デザイン思考」の本質を活かした取り組みの重要性が指摘された。毎回の活動で取組み内容、活動のプロセスで、メンバの理解度・意向確認、制作へどう取り込むかの確認、メンバ同士・デザイナーとのコミュニケーション・意思疎通の徹底があげられる。

4 課題提出者・地域への提言

課題提出者・地域への提言として、富士・富士市の紙の魅力のプロモーションがあげられる。新デザインの(グラフィックレコーディングと合わせた)ポスター化、Web、SNS等による情報発信、今回の産官学協働を発展させた市民との協働、安全性を確保した紙加工工場の見学などによる認知度・理解度の向上、イメージ・アップ施策が求められる。

5 課題提出者・地域からの評価

課題提出者・地域からの評価は以下のとおりである。

本市が提案した「「ふじのかみ」トイレットペーパー包装紙の新デザイン制作」に参画いただき、ありがとうございました。現代社会に求められる環境配慮は多岐にわたることから、トイレットペーパーの仕様変更に伴う包装紙のデザイン変更では、これまでにない製品の特長や背景を上手くパッケージデザインに落とし込む必要がありました。今回のプロジェクトでは、デザイン経営の勉強から工場見学、ゼミ内での議論と進めていただき、富土地域で作られる再生家庭紙をうまく表現してデザインにまとめていただきました。各種イベント等で消費者へのPRに使用することで、富土地域で生産される再生家庭紙全体の売り上げにつながることや、メーカーのパッケージデザインに良い影響が出ることを期待されます（富士市 産業交流部産業政策課）。

◇丸富製紙株式会社再生家庭紙加工工場の見学



◇ワークショップおよびグラフィックレコーディング<2024年10月10日開催>



出 TOKYO UNIV. 小室川裕子教授 ゼミ 2024/10/10(木) ワークショップ (13時~16時、16時~)



出 TOKYO UNIV. 小室川裕子教授 ゼミ 2024/10/10(木) ワークショップ (13時~16時、16時~)



出 TOKYO UNIV. 小室川裕子教授 ゼミ 2024/10/10(木) ワークショップ (13時~16時、16時~)

(備考) グラフィックレコーディング協力: 日置蓉子氏 (富士このみスタイル・このみ会)

◇成果：「ふじのかみ」の新デザイン



(備考) デザイン協力：コイズミチアキ氏